



クジャクシダ

ふるさと散歩 鳥摩の植物

水のしみであるような沢のふちなどに見られるシダ。シダ類は多くのものが全体に長いか短いか、いずれにしても三角形のような形のものが多い。
このシダは枝の広がりといい、なかなかユニークで、葉の羽軸が二股の分枝をくりかえして扇状に広がってゆく。その形がなんと美しい。葉は質が薄く、ふつう緑色をしているが、やや赤みを帯びることもある。いっばいに広がるとその葉は緑色となる。このよう

な見事な形、まさにクジャクの尾羽根を連想させてくれるようなシダは他に例がないので、山ではじめて出会った人も、その名前にするおに納得してくれる。葉柄はかなり長く、無毛で滑らかな紫黒色をしており、ヨメノヌリハシ（嫁の塗り箸）の別名もなるほどと思われる。
北海道から本州の山地の湿り気が多いところに見られるが、あまり多いものではない。四国、九州にも稀産する。高尾山などでもや

写真資料提供 菱山忠三郎氏



は沢すじの登山道、6号路などで目につくかもしれない。
シダ類は花を咲かせることがないので一般の方にはあまり興味をもたれることは少ないが、このシダはよく見ると本当に魅力のあるものだ。多くの人に好かれるシダといったらいいだろう。

《今月の笑顔》



一般財団法人
仁和会総合病院

わこう
和光まどかさん

ささき ゆか
佐々木結香さん



「新春対談 2021」



タックスコーナー

「令和2年分の確定申告を予定されている方へ」



八王子市からのお知らせ

「住民税を特別徴収（給与差引）している従業員の方が、
退職・出国（帰国）するときには」



公益社団法人
八王子法人会

環境の変化で再認識する 人と人がつながることの大切さ

私たちの生活環境、企業を取り巻く経営環境が一変した2020年が終わり、新たな年を迎えました。八王子税務署・小関署長、佐々木副署長のもとを多田会長、清宮広報委員長が訪ねて行われた新春対談は、環境変化への対応と、元の日常を取り戻すことへの願いとが交錯する中、今後の法人会活動や税務行政に対する思いが伝わってくるものとなりました。

【新春対談出席者】

八王子税務署 **小関和夫** 署長 公益社団法人八王子法人会 **多田充伸** 会長
同 **佐々木良二** 副署長 同 **清宮 仁** 広報委員長（司会）



佐々木 副署長 小関 署長 多田 会長 清宮 委員長

1日も早く！ 日常の回復を

司会（清宮広報委員長） 皆さま、あけましておめでとうございます。

一同 おめでとうございます。

司会 昨年はコロナの話題に終始した1年でしたが、今年はどういう1年になってもらいたいか、ぜひ、前向きな、未来に向けた観点から、皆さまにお話しただければと思います。

まずは、小関署長にお伺いしたいのですが。

小関署長 昨年はコロナや豪雨災害など、明るいニュースが非常に少ない年でした。いろいろな活動が制限され、我々の生活も一変しましたが、こうして迎えた今年、「丑年」なんです。この「丑」という漢字を見ても、糸偏を付けると「紐（ひも）」という字になるんです。もともと、牛という動物は、人と人との

間を結ぶ、神の遣いと言われているそうですが、今年はこの因んで、人と人が互いに支え合いながら、心通う、明るい1年になるようになってもらいたいですね。

司会 ありがとうございます。「糸」と「丑」というお話でしたが、まさに、八王子は織物の街として「糸」は得意分野ですから。ぜひ、八王子から、そういう思いが発展していけばよいと感じました。

佐々木副署長はいかがでしょう。

佐々木副署長 何と言いましてもコロナ収束。これに尽きると思います。

今、マスクをすることが当たり前になって、マスクを外すことが恥ずかしいという声が署の女性職員からも聞かれます。マスクをしていますと、どうしても表情が分かりにくくなり、コミュニケーションもとりにくくなるよう

な気がします。人間関係も良くない方向に行きかねませんので、なるべく早く、ありのままの顔を見せられる状況になると嬉しいですね。

多田会長 マスクで距離が広がるよりは、早く、外せる時が来て、糸でつながるような時が来ればということですよ。

司会 確かに、マスクをしていると、表情から伝わるものが30%くらいになってしまうような気がしますね。

多田会長は、今年はどうな年にしたいと思えますか。

会長 小関署長、佐々木副署長が昨年夏に着任されてから、コロナの影響もあり、私どもの会員と接していただく機会がほとんどないまま、年を越してしまいました。そうした機会を持つことが出来ず、申し訳なく思っています。

今年もう少し、署の皆さまと会う機会が欲しいなと思います。7月の税務署の異動時期までには、少しずつ、日常を取り戻したいというのが願いです。八王子の印象が、「マスクで始まりマスクで終わる」のでは寂しいですから。

餅つきとは切り離せない 東北地方のお正月

司会 皆さまのお話を伺いますと、今年はコミュニケーションの再開が切に願われるところだなと感じます。

ところで、署長、副署長は、異動などで、いろいろな地域での暮らしを経験されているかと思いますが、お二人の地元での普段のお正月の過ごし方や、面白い風習ですとか、そういったお話がありましたらお伺いしたいのですが。

署長 出身は、福島市飯坂町という温泉町ですが、子供の頃は12月28日に本家に集合し、餅つきをするのが習慣でした。未広がりの日ということで、28日を選んでいたんですね。

東京に出てきてからは、餅つきはしませんが、自宅の近くに神社がありまして、元旦の未明からお詣りに行くんです。お神酒や甘酒も振舞われます。そこに大きな焚火がありまして、暖をとっている近所の方々と新年のご挨拶をするというのが、毎年のお正月ですね。

そして、今年コロナのこともありますが、「恵方参り」というのにチャレンジしました。恵方の方角にある神社、仏閣に足を運んで

お詣りするということなんです。節分の恵方参りというのは有名ですが、「恵方参り」というのも古くからある風習だそうです。

来月からは確定申告の時期も迎えますし、職員の健康や安全を願う上でも、今年特別な年になりますので。

会長 私も、12月28日に餅つきをします。恵方は暦を見て明けの方といいまして、その年の明けの方角を言うそうですね。私は子供の頃から恵方参りをしています。八王子は神社仏閣が多いですね。

司会 副署長はいかがお過ごしですか。

副署長 子供の頃、祖父に初詣に連れて行ってもらった時、「今年はこちらから先にお参りするんだ」と言っていた意味が、会長と署長のお話を伺って、ようやく分かりました。

司会 それは、有意義な対談となってよかったです。（笑い）

副署長 署長と同じく私も東北（山形）出身ですが、餅つきは年が明けてから正月に行います。ずんだやくるみ、あずきなど、いろいろな餅を作りますが、これがとてもおいしかったのを覚えています。今年の正月は新型コロナウイルス感染症の影響で静かに過ごしていましたが、

都会と田舎が同居する街、八王子

司会 署長、副署長は、昨年7月に八王子税務署に着任されたわけですが、この間、八王子の街、あるいは、八王子法人会に対して、何か感じられたことはございますか。

署長 着任して半年が経過しますが、八王子は都会の良さと、田舎の良さ、その両方が違和感なく融合している感じがします。

通勤ラッシュの人波で、まっすぐ歩けないくらい賑わっている駅周辺と、高尾山などの雄大な自然とが同居していますし、どこか、ホッとさせてくれるような部分も持っていますよね。

江戸時代に宿場町として栄えた歴史もあり、伝統的な織物産業も現代に根ざし、芸者さんものいらっしやる、魅力ある街だと思います。

経済活動の面でも、ベンチャー企業が育ってきています。オンリーワンと言われる技術に長けた方々も多くいらっしやると思っています。街として新しい企業を受け入れよう、みんなで育てようという機運があり、既成概念にとられない色々な表情をもち、カラーがあることが、

今の八王子の魅力であると思います。

司会 佐々木副署長は八王子にどのような印象を持たれましたか。

副署長 仙台から八王子に着任して、初めて八王子駅に降り立った時、仙台駅を思い出しました。ペDESTリアンデッキの影響もありますが、街並みも都会と田舎が同居している感じなど、仙台に似ており、親近感がわきます。牛タンはありませんが。(笑)

司会 私も以前、仙台に住んでいたことがありますが、副署長にアットホームに感じていただき嬉しく思います。

租税教育事業への貢献に感謝します

司会 八王子法人会の活動に対しては、いかがでしょうか。



署長 経営者の方が事業の傍ら、一生懸命、活動されています。特に、租税教育事業への力の入れ方は、「税に関する絵はがきコンクール」への応募数の多さなど、数字にも表れています。今回、法人会が一致

団結し、租税教育に取り組まれた結果として、東京国税局長感謝状を受けられたことは、私にとりまして嬉しい限りです。

女性部会や青年部会を拝見しますと、非常に仲が良いと言いますか、親近感を感じます。会員でない方が見ると、「私も仲間になりたい」と感じる部分があるのではないのでしょうか。

但し、こうして法人会役員の皆さまが会の活動に取り組むことができるのも、ご家族や従業員の方々の理解と支えがあってこそだと思います。そうした方々にも、心から感謝を申し上げます。

このような世の中ですが、人と人とのつながりがもっと大きくなるように、皆さまの力、そして、アイデアで、益々、魅力ある法人会を築いていただきたいと思いますね。

会長 署長さんには、我々が気づかないところを教えていただいた感じがいたします。

古くからの方も、新しい方も、目標に向かって和気あいあいと活動しているのが法人会だと思います。こうした、良い面をどんどん表に出して、有機的に結び付けていくのが、私たち、法人会の役目であると感じます。



租税教育についてお褒めいただきましたが、法人会では子供たちに対して、税金を納めるだけではなく、納めた税金がどのように役立てられているかという点に焦点を当てて取り組んでいます。そのことが、将来、納税者の立場となったときに、きっと役立つと思うんですね。

司会 署長には、「税に関する絵はがきコンクール」の審査もしていただきましたね。

署長 はい。副署長と一緒に審査させていただきました。税について関心を持ってもらうには、何か、とっかかりのようなものが必要だと思います。今回、コンクールに応募するために、税について初めて勉強した児童も沢山いらっしゃったのではないかと思います。作品からは、アイデアをもって、一生懸命に描いていただいたことが伝わってきました。今後、中学、高校、大学と毎年勉強することで、税金の知識が付き、社会に出たときに、スムーズに納税者の立場に移っていただけたらと思います。社会で生活するための共通の会費として、みんなで納めて有効に使っていければ、より良い社会になっていくのではと感じます。

制約の中から生まれた新たな取り組み

司会 副署長にも、八王子法人会の印象をお伺いしたいのですが。

副署長 着任以来、各委員会に参加させていただきましたが、まずは、皆さんが非常に熱心に議論し、活動に取り組んでおられる姿に感心いたしました。

オンラインによる研修会の企画や、Tokyo Star Radio (八王子FM)の番組「愛LOVE八王子」を活用されての税のPRなど、大変感謝しています。他局から来た私としては、八王子法人会のこ



うした取り組みを、他の法人会へもお伝えしたいですね。

会長 副署長がお話しの通り、昨年秋は、新たな「税を考える週間協賛事業」として、地元FM局の放送を活用させていただきました。

例年であれば、11月の「いちよう祭り」に出店し、税のアンケート調査や税関係の資料配布などにより、PRしていただきました。例年であれば、11月の「いちよう祭り」に出店し、税のアンケート調査や税関係の資料配布などにより、PRしていただきました。昨年はコロナの関係で、出店者の募集を行わないことが早い段階で分かっていたので、夏ごろから、清宮委員長の広報委員会でいろいろ検討をしていただき、「とりあえず、やってみよう」ということで実現しました。

もともと、法人会の女性部会役員の方が、番組パーソナリティーをされていたということもきっかけになったんです。

司会 はい。当委員会での取り組み、11月中の毎週月曜日、合計5回の放送でPRをさせていただきました。

署長にも放送をお聴きいただいたと伺っておりますが、どのような印象を持たれましたか。

署長 多田会長、清宮広報委員長はじめ、毎回テーマが重ならず、パーソナリティーの方の司会でテンポよく進行し親しみ易く来週が待ち遠しくなるような印象ですね。税金の使い方など、何気ない掛け合いの中から、リスナーの皆さんの税に対する関心を高めていただけるような、非常にいい企画だと感じました。税務署の職員も聴いていました。

司会 当初は八王子市内だけの放送で、リスナーも限られると思われていましたが、アプリを使って、全国の方に聴いていただいたようです。北海道から沖縄まで、各地のリスナーの方から番組宛にメールが届くなど、非常に多くの

反響をいただきました。

会長 ラジオでのPRの他にも、今年度は、皆さんのスマホやタブレットを使って、オンラインで挑戦いただける税金クイズも作りました。

この「きずな」新年号が発行される頃には、広く、公開されていると思いますが、これも、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を取りやめた、夏休みの「親と子の税金教室」に代わる企画として生まれたものなんです。

昨年春以来、社会的な制約の多い状況が続いていますが、「こういう時だからこそ、何ができるか」との思いで、各委員会を中心に事業の企画に取り組んでいただいています。

e-Tax利用率100%を目指して

司会 さて、お時間も残り少なくなってまいりましたが、法人会、そして、法人会の会員企業に向けて、メールと言いますか、何か、メッセージはございますでしょうか。



署長 現在のコロナ禍において、法人会の活動にも制限があるかと思いますが、活動を継続させることが非常に大切であると思います。これからも、地元社会に密着することにより、温かい活動が重なっていき、法人会の価値や認知度も上がってくるのではないのでしょうか。

厳しい経営環境の中、経営者の方が集まる機会は限られています。勉強会や研修会を行う機会、悩みを解決する機会として、法人会の活動はとても重要であると感じています。人と人とのつながりを増やす、仲間を増やす、話せる人を増やす、情報交換をする場を増やす。一人ですと気持ちがぶれてしまうこともありますが、他の人と話すとき色々な知恵を拝借でき、それが互いにとって効果を生み出し、前向きになれると思います。

目標を持ち、工夫してこの時期をみんなで乗り越えていこうという一体感のある活動が、法人会の皆さんには出来ると思いますので、引き

続きよろしくお願いたします。

会 長 温かいお言葉をいただきありがとうございます。私どもとしましては、会員企業が末永く八王子に定着していただけるよう、一生懸命取り組んでいます。

いま、中小企業には、事業承継という大きな問題があり、これが少しでもスムーズに進むよう、相続税など、税制改正に向けた要望活動にも力を入れていきたいと思ひます。

署 長 手続きがもう少しわかりやすくなるといいですね。皆さんの経営の後押しになるような税制の提言をしていただき、今後も「税のオピニオンリーダー」として、貴重なご意見をお聞かせいただければと考えています。

司 会 副署長からも、法人会へのメッセージをお願いします。

副署長 会員の皆さまの間で、国税電子申告・納税システム（e-Tax）の利用がより一層、進んでいくことに期待しています。

確定申告はぜひ、混雑する税務署に出向くことなく自宅等からIDパスワード方式、又はマイナンバーカード方式を活用いただき、e-Taxでの申告をお願いしたいと思います。

政府でも、デジタル化の推進が叫ばれています。これから益々のe-Tax利用率の向上のために、税務署も一緒に取り組んでまいりますので、法人会の皆さまもぜひ、ご協力ください。

署 長 Withコロナの状況下、様々な経営者の方々がいらっしゃると思ひますが、みんなで話し合っ知恵を出し合い、頑張っていきましょう。

会 長 署長、副署長のお言葉を頂き、法人会としても、更なるe-Taxの利用推進に取り組ませてもらいたいと考えています。

司 会 本日は、長時間にわたりまして、ありがとうございました。

一 同 ありがとうございました。

2020年度 税に関する絵はがきコンクール

入選児童が「一日税務署長」に就任

2020年度の「税に関する絵はがきコンクール」で最優秀賞に輝いた田口未布加さん、税務署長賞に輝いた岡田帆夏さん（何れも横山第二小学校6年生）の二人が、12月7日、八王子税務署で一日署長をつとめました。

小関和夫署長から、一日署長の委嘱状と名刺を受け取った二人は、早速、税務署幹部や法人会役員との名刺交換を体験。続いて、税務署内を視察した後、記念撮影を行い、予定を終えました。

当日は、横山第二小学校の鈴木裕子校長と、二人の担任である上田隆司教諭も



岡田帆夏さん

田口未布加さん

出席。卒業を間近に控えた田口さん、岡田さんの記念すべき、晴れやかな時間を、共に過ごしていただきました。

受賞作品は「きずな2020年12月号」に掲載しています。

キラリ 輝く! 会員企業

Vol 08



創業当初から守り振ってきた 国産食材と料理へのこだわり

野猿街道沿い、八王子市越野にある天然とらふぐと天ぷら料理のお店『ゆずや』（小川昇社長/由木地区）。天然で安心と美味しいお料理を、創業35年間変わらず提供しています。「天然、国産、無添加にこだわり、とらふぐをはじめ、魚は富山県永見港から直送の鮮魚、八王子産の地場の野菜を中心に手造りしています。」（小川さん）

店名の由来は昔、越野の周辺はゆずが採れ、由木と呼ばれたところから命名したそうです。現在の建物になって10年。イタリア風に中庭を配置、冬には満開のミモザの花が楽しめるモダンな造りになっています。



店舗外観（店舗前に8台分の駐車スペースがあります）



明るく開放的な店内

「テイクアウト」や「仕出し」など 積極的に展開

季節のおすすめは、春は『たけのこ、天然山菜』、夏は『鮎、鰹』、秋は『松茸、天然きのこ、秋刀魚』、冬は『天然とらふぐ、蟹』と旬の食材のメニューも展開。「氷見の天然鯛の塩焼とお赤飯のお食初セットや御家族の祝膳（松花堂）等も承っております。当店では、テイクアウト、仕出し料理などデリバリーにも力を入れており、テイクアウトの天丼や海鮮丼2,200円（税込）などお手頃な価格で人気商品となっております。配達も承っております。是非ご利用くださいませ。」



天然とらふぐコースの一例



永見港から直送される鮮魚



おいしい初め料理の一例



天丼弁当は1,300円（税込）より

〒192-0361
八王子市越野21-32
TEL: (042) 676-4525
ホームページ: <https://www.yuzuya-tokyo.com/>
定休日: 月曜、第1火曜
※月曜が祝日の場合は、月曜営業で火曜休み

営業時間【平日】
ランチ 11:00~14:30
ディナー 16:30~
（※火曜のディナーはお休み）
【土・日曜、祝日】
ランチ 11:00~15:00
ディナー 16:30~



法人会ではこのページに登場いただける会員企業を募集しています。業種は問いません。あなたの会社の前向きな取り組みや新しいチャレンジなどをぜひ、紹介させてください。詳しくは、法人会ホームページ (<https://www.hojinkai.or.jp>) をご覧ください。

令和2年分の確定申告を 予定されている方へ

**確定申告会場は大変混雑します。
新型コロナウイルス感染症拡大防
止のためにも、申告会場に来場せ
ず、ご自宅等からのe-Tax（電子
申告）をお願いします！**

申告会場は非常に混雑します

申告会場では、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じていますが、**多くの方が申告会場を訪れることから、いわゆる「三密」が発生しやすい状況となります。**



万が一、新型コロナウイルスに 感染してしまうと…

新型コロナウイルスに感染した場合、同居している**大切なご家族にも感染する恐れ**があります。ご自分・ご家族を守るためにも、ご自宅等からのe-Tax（電子申告）に、是非、ご協力ください。



来場を検討されている方 確定申告会場への入場には 「入場整理券」が必要です

- 会場内の混雑緩和のため、確定申告会場への入場には入場できる時間枠が指定された「**入場整理券**」が必要です。
- 入場整理券は**税務署で当日配付**しますが、**LINEを通じたオンライン事前発行**も可能です。
- 入場整理券の配付状況に応じて、**後日の来場をお願いする場合**があります。当日の配付状況は、国税庁ホームページから確認できます（令和3年2月16日掲載開始予定）。

書面での申告は郵送を！

- マイナンバーカードやID・パスワードの取得が間に合わず、やむを得ず書面で提出する場合にも**申告会場への来場はお控えください。**
- マイナンバーカードの取得については住民票のある市区町村へID・パスワードの取得については最寄りの税務署へそれぞれお尋ねください。
- 書面で提出する方は、国税庁ホームページ上の確定申告書作成コーナーで作成・保存した申告書データをご自宅のプリンタやコンビニエンスストア等のプリントサービス（有料）で印刷し**郵送等で提出してください。**



年末調整に関する説明会を開催

毎年11月に行政機関の主導により大きな規模で開催されている年末調整説明会が、昨年は感染症対策のため中止に。そこで、法人会では、10月から12月にかけて、研修委員会、源泉部会等の企画により、年末調整の改正事項に焦点を当てた説明会を税務署から講師を招き、市内各所で合計7回、開催しました。

この他、オンライン専用の説明会も用意し、会場での開催分と合わせ、130名を超える受講者を集めました。

会場では、年末調整に必要となる申告書や法定調書を用意。来場された方に必要枚数をお持ち帰りいただく対応も取らせていただきました。



■ 八王子市からのお知らせ ■

住民税を特別徴収(給与差引)している従業員の方が、退職・出国(帰国)するときには

住民税の納め忘れがないよう、事業者の方から以下の手続きを御案内いただきますようお願いいたします。

● 残りの住民税(特別徴収税額)の一括徴収

従業員の方が退職・出国(帰国)する場合、残りの住民税(特別徴収税額)の一括徴収に御協力をお願いします。

(令和3年1月1日から令和3年4月30日までの間に退職した方に、令和2年度分の未徴収税額がある場合、地方税法によると5月31日までに支払われるべき給与または退職手当が残りの税額を超える際には、納税者本人からの申出の有無にかかわらず、その金額の全てを一括徴収し納付しなければならないと規定されています。)

地方税法第321条の5第2項

● 納税管理人の選任

出国(帰国)する方で、日本から出国するまでの間に住民税を納めることができない場合は、出国する前に、日本に居住する方の中から自身に代わり税金の手続きを行う方(納税管理人)を定め、市区町村に届け出る必要があります。該当する方がいらっしゃる場合には納税管理人の設定を促していただきますようお願いいたします。

地方税法第300条

納税管理人の設定や今後の納付方法等について御不明な点がございましたら、納税者御本人から、以下の問合せ先に御連絡いただくようお願いいたします。

また、総務省ホームページに、在留外国人向けパンフレット(日本語・英語・中国語・ベトナム語・ポルトガル語)が掲載されています。二次元コードからも御覧いただけますので、御活用ください。

【お問い合わせ先】

八王子市税務部住民税課
電話：042-620-7354
E-mail：b040100@city.hachioji.tokyo.jp



(二次元コード)

研修事業の開催状況などを報告

～ 源泉部会理事会 ～

源泉部会では12月14日、本年度最初となる理事会を開催。早くに策定していた事業計画に基づき、これまで着実に開催されてきた源泉所得税関連の研修事業に関する報告等が行われました。

部会員を中心とした交流事業の開催については、感染症対策の観点から具体化を見送りましたが、会員への税務情報提供を主軸とする部会本来の活動方針に沿

って、年明け以降の研修企画などについても審議しました。



今月の笑顔



一般財団法人
仁和会総合病院

(明神町)

<https://www.jinwakai.jp>

▼今月の笑顔は、JR八王子駅北口から徒歩3分、京王八王子駅中央口から徒歩1分と、交通アクセスが非常に便利な明神町の『一般財団法人仁和会総合病院』へお伺いしました。

▼一般財団法人仁和会総合病院は、財団法人仁和会として1946年(昭和21年)日野市豊田に創設され、1947年より、明神町で仁和会診療所を開設。病棟は2001年、外来棟は2009年より、現在の姿となっています。総合病院として内科、外科をはじめ多くの診療科目を網羅しています。また、健診センターも備えており、一般健診、人間ドックなどにも力を入れています。

▼表紙にご登壇いただいた、看護師の和光まどかさんと、佐々木結香さんにお話を伺いました。お二人は、内科、外科、整形外科などの急性期病棟に所属されており、術前術後のサポート、および患者さんの入院から退院までのケアを行っています。

▼入退院の多い病棟において、看護業務を注意深く取り組まれており、「患者さんの立場に立って、不安にならないよう寄り添い、安心して治療が行えるようコミュニケーションをとっています」(佐々木さん)「ご家族との関りにも大切に取り組んでいます。現在は新型コロナウイルス感染症による感染対策の為、面会が制限されており、オンライン面会のみ行っています」(和光さん)

▼3種類の異なった機能(一般・地域包括ケア・医療療養)を有する病棟がある総合病院のメリットとして、「当院にて患者さんの状況に応じた治療を継続して行うことができます」(佐々木さん)



看護師 和光まどかさん
看護部長 吉田美穂さん
看護師 佐々木結香さん

▼日々入退院がある緊張感のある業務の中、お休みには趣味を楽しむお二人、「旅行やイベント、ビッグバン(BIGBANG)などのライブを観に行きます(和光さん)」「映画を見たり、今は行けませんが、年に2回海外旅行に行きます」(佐々木さん)

▼「八王子を盛り上げていきたいです」周りを元気にしたいという気持ちを、力強く語っていただきました。

お問合せ
八王子市明神町4丁目8番1号

電話：042-644-3711(代表)
FAX：042-646-2556



発行者 公益社団法人 八王子法人会 会長 多田 充 伸 発行日 令和3年1月5日
編集者 公益社団法人 八王子法人会 広報委員長 清宮 仁 印刷 スズキ美術印刷(株)
発行所 公益社団法人 八王子法人会 東京都八王子市大横町14-25 東京都八王子市南町9-8
第45巻 第10号 通巻482号 電話(042)625-4875(代) FAX(042)625-0566 電話(042)626-2600(代)